

東京大学 留学プログラム報告書 (プログラム名: Berkeley Summer Sessions)

工学部/航空宇宙工学科・4年(留学時):

University of California Berkeley Summer Session 2012:

留学期間: 2012 年 7 月 ~ 2012 年 8 月

卒業・修了後の就職希望先: ①.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) ③.公務員 4.非営利団体 ⑤.民間企業 6.起業 7.その他()

1. 留学先大学の概要

<http://berkeley.edu/>

2. 留学の動機

もともと海外の大学院を志望しています。出願の準備を始める前に本当にアメリカでいいのかを考える材料が欲しかったこと、また学部段階での留学の経験は基本的なものの考え方により影響をもたらすのではと思って留学することを決めました。

理系の4年生ですので院試が8月の後半にあり、その直前に留学などしていても大丈夫なのかと考えることもありました。結局、同じ合格するのならば留学もして合格した方が得るものは大きいのではと考え、実際に応募するに至りました。結果的にそのようにして正解だったと思います。

3. 留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

東大からお金を出してもらうわけではないので選考も甘かったし、ましてやパークレー側では申し込みの段階でお客様状態の対応でした。もっと東大から支援してもらえるプログラムに参加すればよかったなと後悔しています。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

アメリカ留学の準備を自分でする場合、一番面倒なのはビザの取得だと思います。僕の場合、ビザ取得について調べ始めてから実際に受け取るまで一か月半かかりました。かなりややこしいため、時間に十分な余裕を見ないと大変なことになると思います。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)

特にしていませんでした。毎年の健康診断さえ受けていれば必要ないと思います。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

本郷のトラベルセンターで紹介していただいた AIU 海外旅行保険の 82P 型に加入しました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

航空宇宙工学科は国際交流関係の対応がほぼ何もなされておらず、単位は認めてもらえませんでした。学科にもよりますが、この点は覚悟が必要です。授業とは干渉しない日程だったのですが、ビザや奨学金取得の手続きの傍ら期末レポートを締切りよりも早く提出する必要があったため渡米前はかなり大変でした。

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

話すことを含め、もともと英語には自信があったため特に準備はしませんでした。ただ、英語力に不安のある場合は、自

由に英語で会話できるレベルになっていた方がより留学を楽しめると思います。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

三週間でしたが、白米を食べられないことに悩まされました。佐藤のごはんは持って行った方がいいと思います(笑)

4. 留學生活について

①住居(住居の種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

Berkeley International House (<http://ihouse.berkeley.edu/>)に宿泊しました。家賃は高め(Deposit の\$500 を含め \$2,120)ですが、食事つきですので楽です。ただ、デポジットは交渉しないと返してくれないようなのでしっかりと主張してください。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は涼しく、雨もめったに降りません。日本の夏場に比べれば非常に勉強に適した環境だと思いました。カリフォルニア一帯は地下鉄網がしっかりしているので交通に不便はないと思います(スタンフォード周辺は便が悪いので注意が必要)。僕の場合は現金をある程度持っていき、必要に応じてクレジットカードを使いました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

カリフォルニアは特に薬物が蔓延しているようなので注意が必要だと思います。ただ、普通の生活(夜は部屋に戻るなど)を守っていれば危険な目に遭うことはないと思います。現地の医療機関にはかからなかったのでよくわかりません。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

三週間で総額 70 万円程度かかりました。大学からの援助がなかったのが辛かったです。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額など)

Friends of Todai (FOTI)から\$3,000 支給していただきました(留学生に一律\$3,000 の様子)。とても感謝しています。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

留學中は勉強が忙しく、それ以外の活動はあまりできませんでした。

5. 学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。)

COLWRIT/ESL 8

②留學中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

集中コースだったので午前と午後に授業があり、毎日宿題が出され、その宿題についてディスカッションするというかなりハードな授業でした。何よりも宿題が多いのにびっくりしました。

③履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

COLWRIT/ESL 8(4 単位):午前午後合わせて 5 時間の授業の他、毎日 4 時間は自室で勉強していたと思います。かなりハードです。

④学習・研究面でのアドバイス

やることをやれば評価してもらえます。僕の場合予復習や課題を真面目にこなしたところ、A+をいただきました。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

英語での苦勞は特に感じませんでした。ただ、日本で日本人の友達と話すときのような微妙なニュアンスを使った会話はやはり難しいなと思いました。

6. 留学先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

ハードなカリキュラムな分、授業の先生が全面的にサポートしてくださるので安心して勉強することができました。勉強に関するサポート体制はしっかりしていたと思います。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は東大のそれかそれ以上に充実していました。構内に安く食べられる食堂が見当たらなかったため、宿泊先の食堂を利用していました。

7. 留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

各国の仲間と話す中でいろいろと考えさせることもありましたが、改めて自分の小ささにも気付くこともできました。行って初めてわかるようなことが複合された、言葉ではうまく表現できないような感覚を得て帰ってきたので、正直なところここに書けることは多くありません。一つ言えるのは、日本人がアメリカに留学する際、初めにカリフォルニアを見ておくべきだということです。単に「アメリカに行った、楽しかった」では済まされないこともあるのだな、と実感できます。

②留学後の予定

基本的には大学院に進む予定です。とりあえず東大の院に通いますが、GREの成績が良ければアメリカの院も考えるかもしれません。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

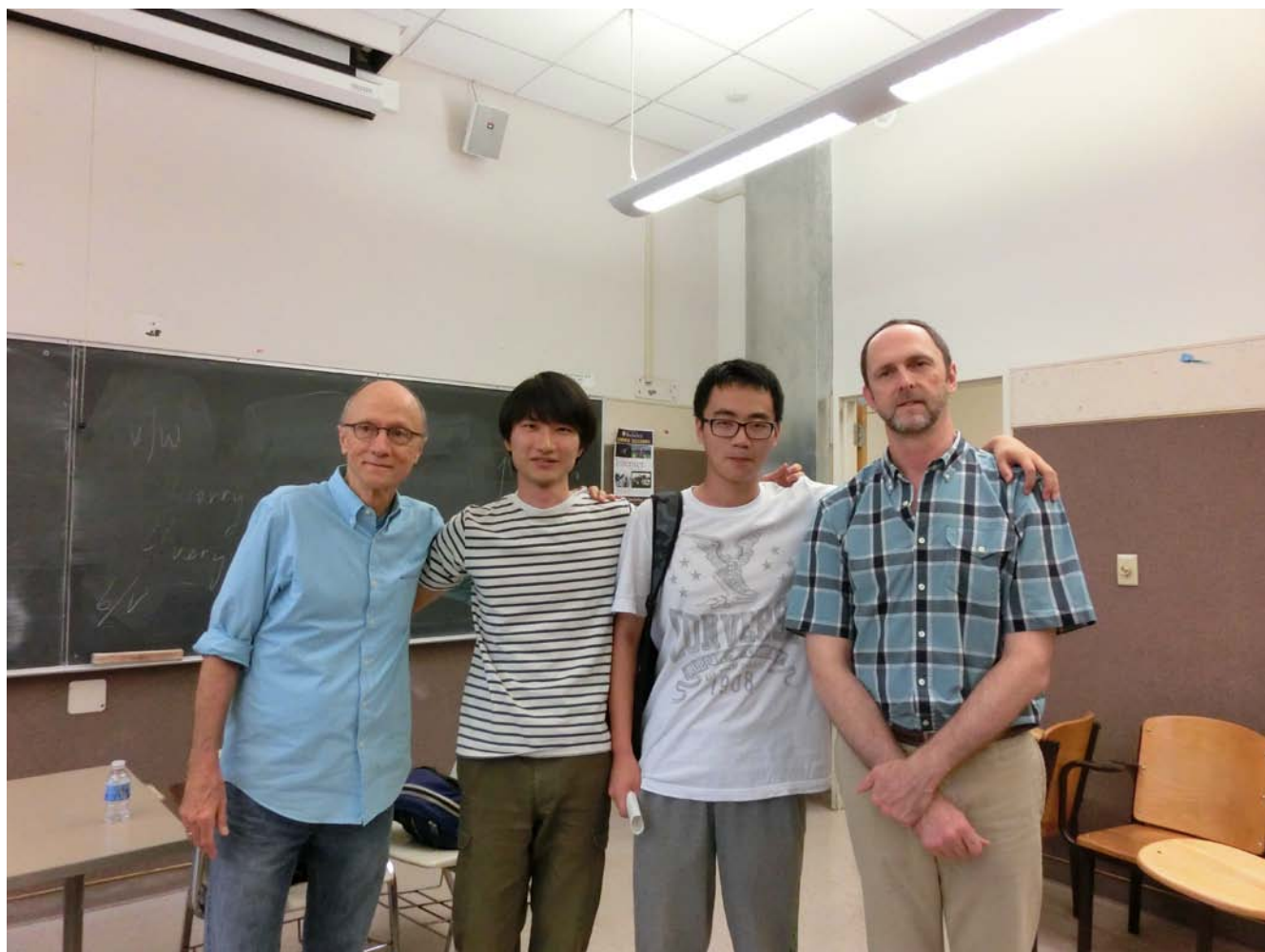
英語が不安、という人こそ是非バークレーに行ってください。意外と自分でもやっていけるなということに気付くはずですが、その一方で今の自分に足りないものにもきつと気付くと思います。それは一人の学生として海外の大学に通うことで初めて気付くことのできるもので、海外旅行や一人旅とは確実に異なった経験です。その点バークレーのサマーセッションはまたとないチャンスですので、少しでも興味のある方には強くお勧めしたいと思います。

8. その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

パークレーの関連ホームページを何度も読み返して準備しました。とてもよくできたホームページでした。

③その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



授業最終日・先生と友達と

東京大学 留学プログラム報告書 (プログラム名: Berkeley Summer Sessions)

所属学部/研究科・学年(留学時): 理学系研究科 化学専攻 修士2年

留学先大学・学部/研究科等: UC Berkeley

留学期間: 2012年 7月 ~ 2012年 8月

卒業・修了後の就職希望先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体 **5.民間企業**
6.起業 7.その他()

1. 留学先大学の概要

UC Berkeley, summer session E program に参加。ESL (English as second language) を履修し英語によるディスカッション力を鍛えた。

2. 留学の動機

来年度の勤務先では日常的に英語が必要であり、学生時代に留学をすることは大学入学時からの目標であったため。

3. 留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

ネットにより申し込み。ガイダンスに従うのみ。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

F-1 ビザを習得。大使館面接の日程の空きには要注意。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)

特になし

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京海上日動の保険に加入。レンタカー等の故障トラブル等で利用するも通訳しかなく、突発的なトラブル対処には全く役に立たなかった。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

研究室の報告のみ。

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

Skype を利用して現地の国の友人と会話する程度。

⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

薬、辞書、携帯、PC、国際学生証。

4. 留学生活について

①住居(住居の種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

International house Berkeley を利用。人、食事、立地において素晴らしい環境であった。Berkeley home page より申し込み。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

クレジットカードは必須。長袖も必要。ホームレスが多い。目が合うと声をかけられるのでサングラスは便利。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

サンフランシスコは危ない所多々有り。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

航空券 15 万、宿(食事込み)13 万、授業代等、15 万程度

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額など)

特になし

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

他国の友人と食事等

5. 学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。)

ESL(週 4 コマ)

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

毎日宿題、大学の講義というよりは塾に近い感覚。毎日がディスカッションとプレゼン。英語以外は全く話す機会がない。

③履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

4 単位。朝 9:30~昼休憩をはさんで夕方 5 時まで。

④学習・研究面でのアドバイス

本学の生徒であれば楽にこなせる内容に感じる。他国は中国人が過半数を占め、北京大、精華大、西安交通大の学生が多い。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

授業での会話よりも日常会話において言いたい表現がなかなか出ない。

6. 留学先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生交流会が international house で行われる。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

通年生徒と同じ環境が提供される。素晴らしい環境である。

7. 留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

英語というツールの便利さを再認識。本学の学生に対する認識は米国においても高く評価されるゆえに、プレッシャーとを感じる場面もある。

②留学後の予定

修士研究の再開。および来年度の職務理解。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

迷わずにまず飛び込むこと。不安は皆が感じるもの。国籍、語学、宗教、その他もろもろに関する不安は個人差はあれど些細なことへと変わります。

8. その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

Speaking24 (英語を勉強するもの同士の skype 交流サイト)

③その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。